

教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ			
題名・副題	化学の不思議「つかめる水」を作ろう ～水の不思議を発見しよう～			
月日・時間	6月9日(日) 10:00~12:00			
開催場所	はまぎん こども宇宙科学館 2階 実験室			
部会・講師名	グリーン部会 柳川三郎	参加数	20名	講師数 7名
写真				
	砂漠で生き残るためのクイズと寸劇		海と陸の広さを知るアースボールゲーム	
				
	電子計量器で材料を慎重に計測をする		手のひらに水玉「水をつかむ」実験成功	
成果解説	<p>この教室のテーマは「水」。地球の水の存在と生命などの関係について実験を通して水の大切さを学び、水の不思議な化学反応で「つかめる水」を実験します。</p> <p>始めに、水の大切さを演出する寸劇を行い、砂漠では食べ物より水があれば長く生きられることを子どもたちに理解してもらいました。また、地球上の水はどのような形態で存在しているか、生活で使える水はどの程度かなどのクイズ、更に、アースボールを使って海の広さと陸の広さのゲームを保護者も一緒に楽しみながら水の理解を深めました。</p> <p>この教室のテーマ「つかめる水」の実験では、材料のアルギン酸ナトリウムと乳酸カルシウムの粉末を計量器で測って水溶液を全員で作りました。アルギン酸ナトリウムは水に溶けにくいので15分間攪拌した後、おたまを使って水溶液を静かに乳酸カルシウム水溶液に入れて、3分間静かに混ぜ合わせると透明で寒天のような感触の水玉を掬い上げることができました。この水玉を手のひらにつかみ取って子どもたちは実験の達成感を楽しみました。</p>			